

今後の進め方（案）

令和3年3月26日

内閣府

各WG・EBPMアドバイザーボードの主な課題

(1) 全WGに共通する課題

- 都道府県と市町村の役割再構築と広域化
- これまでの改革の進捗と今後の課題

(2) 個別の課題

各WGは、これまでの一体改革推進委員会の議論、昨年12/18民間議員資料「改革工程表の着実な実行と重点的取組事項」及び本年1/21民間議員資料「経済財政諮問会議における2021年前半の主な検討課題について」等を踏まえ、以下の課題を中心に検討を進めるとともに、今後の経済財政諮問会議の議論を踏まえ、検討を行う。

- 新型感染症にも対応可能な地域医療のガバナンス強化
- コロナ後を見据えた社会保障分野におけるデジタル化の推進
- コロナ禍における予防・健康づくりの推進
- デジタル時代の地方行財政（予算・執行・決算データの迅速な把握、遠隔自治体間含む連携促進）
- 活力ある地方の実現（空き家等の活用を通じた二地域居住・スマートシティの推進等）
- GIGAスクール構想（EBPMアドバイザーボードと連携）
- 大学改革

(3) EBPMアドバイザーボード

- 改革工程表におけるエビデンス構築（別紙1）
- 多年度型事業のEBPM（GIGAスクール構想等）

1. 進め方

- 下記に沿って、EBPMアドバイザリーボード（AB）が改革工程表の項目を選定した上で、項目の担当府省がAB、内閣府の協力を得つつ、検証・エビデンスの構築を進めることとしてはどうか。
 - （1）政策目標・KPI（第2、第1）・取組間のつながりの検証・必要なエビデンスの構築
 - 対象とする項目は、「重要な政策分野」、「先行研究等があり、それらの見える化が重要な分野」、「データの追加的な収集・分析によりエビデンスが強固になる分野」「諸外国で同様のエビデンスが構築されている分野」から選定
 - a. 国内外の既存研究の収集・体系化、b. データ分析、c. データの収集・作成等によりエビデンスを構築
 - 星委員による経済・財政一体改革推進委員会（2020年12月16日）提出資料（別紙3）参照
 - （2）政策目標や主要KPIについて指標としての適切さの検証
 - 「進捗把握が可能なように目標が十分明確・定量的に設定されているか」「アウトプット（KPI第1）・アウトカム（KPI第2）の概念に沿っているか」といった点からの検証

2. スケジュール（年内）

- ・ 6月メド AB：対象項目、エビデンス構築の方向性の取りまとめ（イメージは別紙2）
- 7月～9月 検証・エビデンス構築
- ・ 9月 AB：取りまとめ
- ・ 秋 一体改革推進委：取りまとめの報告
 - ※エビデンス構築に時間を要する項目は、秋以降一体改革委に随時、進捗状況を報告
- ～年末 各WG：取りまとめを踏まえ、改革工程表改定に向けた検討

(参考) エビデンス構築の方向性・工程案 (イメージ)

| 計画 | | | |
|----|--|------|---|
| 番号 | 対象 | 担当府省 | 対応の方向性・工程 |
| 1 | ○ (K P I 第 2 階層) と ○ (政策目標) との関係 | △ | ・ 2021年秋までに既存研究 (国内・海外) の収集、体系化 (クリアリングハウス) |
| 2 | ○ (K P I 第 1 階層) と ○ (K P I 第 2 階層) との関係 | △ | ・ 2021年中に新データ系列 (例: 市町村別データ) を構築及びそれを用いた分析を実施 |
| 3 | ○ (K P I 第 1 階層) と ○ (K P I 第 2 階層) との関係 | △ | ・ 2022年度中に新データ系列 (例: 新規調査) を構築及びそれを用いた分析を実施 |
| 4 | ○ (取組) と ○ (K P I 第 1 階層) との関係 | △ | ・ 2021年秋までに行政データ活用による分析 (記述統計の整理) |
| 5 | ○ (政策目標) | △ | ・ 2021年秋までに定量的指標を設定 |

エビデンス整備計画（仮称）

- 改革工程表のロジックモデル（取組→KPI第1階層→KPI第2階層→政策目標）について、どのようなエビデンスの蓄積が求められるかを整理する。
- 重要点について、今後順次エビデンスを構築していく計画をたて、実行する。

例：予防・健康づくりの推進（の一部）

KPI第2階層と政策目標の関係に関するエビデンス

- 適正体重を維持している者の増加は健康寿命の延伸をもたらすか？
- がんの年齢調整死亡率の低下は？健康寿命の延伸をもたらすか？

KPI第1階層とKPI第2階層の関係に関するエビデンス

- がん検診受診率の上昇はがんの年齢調整死亡率の低下につながるか？
- 特定検診・特定保健指導の実施率の上昇は適正体重を維持する人数を増加させるか？

取組とKPI第1階層の関係に関するエビデンス

- スマート・ライフ・プロジェクトは特定検診・特定保健指導の実施率を上昇させるか？